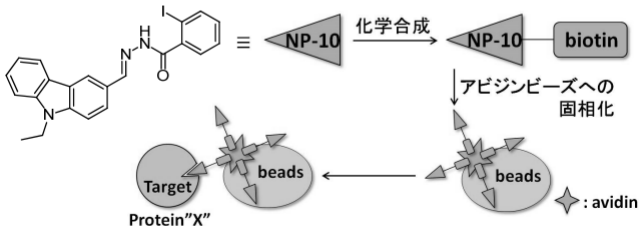


27PB-am263S

細胞周期 M 期停止作用を有する新規抗がん剤の作用機序解明に向けた研究
○ 渋田 篤¹, 劉 北¹, Nisha PANG¹, 藤原 理沙¹, 森本 浩之¹, 大嶋 孝志¹, 岩崎 優香¹,
大平 誠¹, 田中 智佳¹, 黒木 康貴¹, 北村 龍彦¹, 松尾 直樹¹, 吉田 和真¹, 杉本のぞみ¹,
藤田 雅俊¹ (¹九大院薬)

【目的】 抗がん剤候補化合物のスクリーニング過程で新規化合物 NP-10 が発見され、我々の以前の研究により、がん細胞選択的な増殖抑制効果と M 期停止作用を有している事が判明した¹⁾。NP-10 は既存の抗がん剤とは異なる新規作用機序を持つ事が示唆されたため、その標的蛋白質の同定を行った。

【結果】 NP-10 と、作用対象が既知の化合物である Eg5 阻害剤²⁾に関してビオチンの導入を化学合成によって行い、活性型 NP-10 ビーズ及び control を作成した。これらのビーズを用いた Pull down assay により、活性型ビーズに特異的に結合する蛋白質に関して Mass 解析を行った結果、NP-10 の標的であると推定される核輸送蛋白質 X が同定された。詳細はポスターにて報告する。



1) 日本薬学会第 134 回年会 29amS-084

2) Fujii, N.; Oishi, S. et al. *J. Med. Chem.*, **2011**, *54*, 4839.